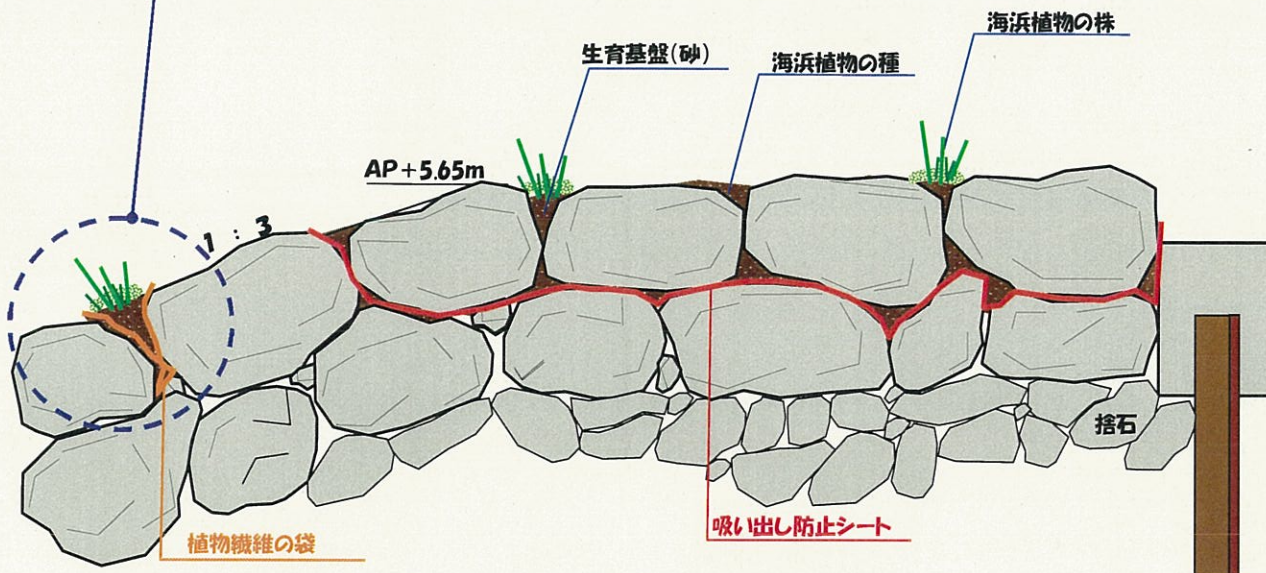


護岸法面において袋(植物繊維製)を利用した基盤づくりが可能かどうか事前確認を行った。



H20年度予定部の基本構造

1. 材料(袋)の確認

①使用材料



①コーヒー豆袋：産地によって袋の品質が異なり、取りそろえ時の品質の統一化は困難

②米・穀物袋：製品であり取りそろえ時の統一は可能。編み目は多少粗い(乾燥時)。

③ジュート袋：製品であり取りそろえ時の統一は可能。編み目は粗い(乾燥時)。

→ テスト

→ テスト